

議事要旨　　公開用

1. 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会
地誌・国際理解教育小委員会（第24期・第4回）
2. 日時 2019年6月30日（日）
3. 会場 東京大学駒場キャンパス 13:45～16:00
4. 出席者 岡橋秀典、氷見山幸夫、山本健兒、宮町良広、松原宏、中澤高志、山川充夫
5. 議事概要
 - 1) 前回議事録の確認

前回(2018年12月2日)議事録が確認の上承認された。
 - 2) 提言に関する意見交換
 - ・ 岡橋委員から、提言すべき点として、地理総合では、国際理解を異文化理解だけでなく、グローバルなシステムとの関連でも考えさせるべきこと、また国際協力では、市民が社会・世界と関わり、よりよい人生を送るのかという視点を強化する必要があることなどが提起された。これについての意見として、地理プロパーの高校教員の声をすくい上げるような提言の必要性や、地理学を専門とする教員が養成できなくても、学習指導要領の内容を実行していく体制の提案などが提示された。
 - 3) その他
 - ①小委員会委員の追加について 由井義通氏（広島大学）を追加することが承認された。
 - ②教材素材集について
 - ・ 生活文化の多様性と国際理解の項の記述が不十分であり、具体的な構成も示されていない。地誌的記述が少ないと、具体的な地域を念頭に置いた考察を妨げることになるので、委員長が中心となって、時間をかけて、執筆者の選定も含めて検討し、充実に向けて努力することに決定した。一気に全部を完成させるのは無理なので、執筆が終わったものから随時掲載していく。なお、国連関係のさまざまな資料を活用し、地球的課題との関連性も意識した学びができるようにすることも提起された。
 - ③関連する研究集会の開催について

広島大学現代インド研究センターの第3回研究集会（9月7日）で、インド地域研究と地理教育をテーマとした集会が開かれたことが紹介された。